



第 699 号
発行人●豊丘村公民館
館長 原 国人
編集人●長野県下伊那郡
豊丘村公民館報
編集委員会
0265-35-9066
印刷所●龍共印刷株式会社

私たちの村
(5月1日現在 ※外国人を含む)
男 3,336人
女 3,372人
総人口 6,708人
世帯数 2,155戸

華華しく祝う

村民の誇り、村民に
愛される道の駅に

道の駅 南信州とよ
おかマルシェ支配人
岡田 敬

道の駅 南信州とよおかマルシェは、この四月に創業一周年を迎えることが出来ました。これもひとえに村民の皆様をはじめ、多くの皆様の暖かいご支援のおかげと心より感謝申し上げます。

また、四月二十七日から五月六日まで開催しました道の駅一周年記念祭では、多くの村民の皆様にご来場いただくとともに、イベントにご出演賜り、大きな賑わいを作ってくれたことに重ねて感謝申し上げます。イベントを通じて、皆様の道の駅への期待や思いに触れ、改めて、身が引き締まる思いです。さて、創業一周年を迎え

るにあたり、当駅の目標を「全国で一番ワクワクする道の駅」として掲げ、目標達成のためのプロジェクトをスタートさせました。これは、ご来場された皆様に「ワクワク感や楽しさ」を提供し、何度通ってみたいくなる、行ってみたくなる道の駅をつくるものです。

このプロジェクトでは、第一に、社員がイキイキと活躍できる環境整備を進め、社員がやりがいを持って働ける、笑顔あふれる、明るい職場づくりに取り組むこととしています。第二として、豊富で多彩な商品とメニューを揃えるとともに、「とよおかマルシェなら〇〇」という定番商品を産み出し、お客様が何度も通ってみたいくなるお店をつくります。また、第三として、社員のアイデアと能力の融合により、新しい商品、メニューを研

究、開発し、常に新しく、日々進化する道の駅づくりに取り組んでいきます。道の駅 南信州とよおかマルシェの二年目がスタートしました。至らぬ点が多いですが、ワクワクプロジェクトを推進し、村民の誇り、村民に愛される道の駅になれるよう、スタッフ一同、積極的に取り組んで参りますので、村民の皆様のご指導・鞭撻、お力添えをお願いいたします。



段丘

五月一日に、令和元年を迎えました。テレビ放送では全国各地でカウントダウンが行われ、年末以上の盛り上がりを見せ、日本国中が新しい令和の時代となりました。

昭和の時代、自動車、テレビ、洗濯機、冷蔵庫等、様々なものが発達し、世の中が変化してきました。

平成時代に発達したものに、携帯電話があると思います。だんだん小型化し現在に至っているのは、みなさんご承知の通りだと思います。

日本の最高齢者は百十六歳とおきします。明治の生まれの方から見れば、こんな世の中がやってくるとは想像もつかなかったと思います。

ただ、どんなに世の中が発達しても、人間の知恵や感情、考え方などは、絶対に機械に負けないものだと思いたいです。

令和の時代がスタートし、皆が安心して暮らせる世の中になつてほしいと感じる今日この頃です。

(原 明美)

河野壮丁おどり

3年振りに復活

4月6日

中芝 塩澤佑真

四月六日土曜日、河野大宮神社舞台にて壮丁踊りを行いました。踊り子は保育園からの幼馴染み四人で踊りました。去年の十二月から準備を始め二月初旬から練習を開始しました。ですが、四人全員が地元に住んでいる訳ではありません。大学、専門学校等に通っています。なので、学生達の春

休みに合わせ毎週、木金土曜日に練習をしました。私は正直最初の方はやる気があまりありませんでした。ですが毎週練習を行い努力を積み重ねるうちに踊りを覚えていくと段々と達成感が湧いてきました。私は地元に住み就職している為、練習に行ける回数も多かった。で他の人達にも教えられ、そういつた事をしていくと自信が付き本番に近づくに

つれて最終段階までできました。本番当日の昼明け一時から準備を始めました。一人一人が化粧や衣装に着替え本番に備えました。全員準備が整った後、最終確認をしました。十八時三十分から本番が始まり合計で五曲踊りました。一つ一つの曲には特徴があり逆刃刀や扇子を使うなど色々な物を使い踊りました。全ての項目が終了した後、私が四人を代表し挨拶をしました。挨拶

挨拶が終わる幕が閉じると、今までやってきた達成感に歓喜のあまり涙を流していました。中学を卒業し皆、別々の高校に進み自分の選んだ人生を歩んでいる中、こうやって幼馴染みと思い出を作る事が出来て本当に嬉しいのです。美波、晃祐、神太郎、二ヶ月間本当に楽しい時間をありがとうございました。思



先輩方、保護者の皆様、大変お世話になりました。ありがとうございました。

令和の時代がスタートし、皆が安心して暮らせる世の中になつてほしいと感じる今日この頃です。

「平成」時代を振り返り

「令和」時代を思う

北市場二 水野正義

今年の四月一日午前十一時四十分頃、多くの国民の期待と注目の中、新元号は「令和」と発表された。いよいよ「平成」の時代も終わるのだと思うと、一抹の寂しさを覚える。「平成」時代は、四月に天皇陛下が退位され幕を閉じた。そして五月一日をもって、皇太子殿下が新天皇に即位され、「令和」の時代へと入った。「平成」の二文字は、平易で親しみやすく、多くの国民の「平和であれかし」との願いが込められた年号であった。「昭和」は、当初から軍国主義に彩られ、国民を無謀な大戦、そして敗戦、本土は焦土と化した

が、奇跡的に復興し、民主国家として再生し、現在に至っている。「平成」の三十二年間は、いったいどんな時代だったのだろうか。「平成」が幕を開けた当時、一部を除きほとんどの人がインターネットなど知らなかった。ところが、現在ではパソコンや携帯電話が普及しインターネットが広がった。それに伴って仕事の仕方や、日常の生活様式も変化した。記憶に残る出来事として、世間を不安と恐怖に陥れた「地下鉄サリン事件」があったが、なんと言っても忘れる事が出来ないのが、東日本大震災を

はじめ、阪神淡路大震災や熊本地震等々、世紀に及ぶ大災害の発生である。そしてその復興に費やした歳月だった様にも思う。しかし、全般的には平和であったことを感謝したい。

新しい時代には、格差や貧困が無くなり、誰もが希望を持って生きられる、平和な時代になることを願ってやまない。しかし、現実には深刻な格差社会が一層広がりをみせたり、少子高齢化の流れは益々現実味を増してきている。豊丘村に於いても、この事は避けて通れない深刻な問題でもある。その中にある、八年後に迫ったリニア新幹線時代に突入する事も事実である。その結果がどう出るかは解らないが、都市部との時間的な距離が劇的に短くなり、人の出入りも激しくなる事が予想される。それと共に、多くの外国人も、仕事や観光等で訪れたり、住み着く事も予想される。豊かな自然や文化、これまでの長い歴史の中で培われてきた、飯田・下伊那らしさ、「豊丘らしさ」をはっきりさせ、広く発信していく必要があると思う。自然景観を生かした取組みの例として、福島地区の「てっぺん公園」の試みが目を引く。四季を通して観光客に楽しんでもらえるような態勢づくりと、地域をあげての取組みの広がりに期待したい。

蛇川下流域三六災害体験談(3)

床上まで水がついた家があった

聞き手 原 章 (古畑)

（前回に続いて）
☆上村で、蛇川に近い家には、どんな影響がありましたか？☆

「当時も県道が今の場所にあった。県道より下側（西側）は、県道が防波堤のような役目をしていて水の被害が少なかった。しかし、上側（東側）は水がついてしまつて、下流側よりひどかった。県道より下の家では水が床下くらいまでだったが、県道より上では床上まで水がついた家があった。」

「近くに住んでいる者同士で助け合つて、よその家の子どもを手を引いて、低いところにある家から少しでも高いところにある道路などまで連れて避難するといつ

たこともあった。助け合つたということもあるが、事態がとも緊急迫っていたというところもある。」



まわりの家より県道は高い所を走る

「水ができてきた時には家の中で一階から二階に避難した。それでも心配になつて、少し高い所にあつて安全と思つた。近所の家へ避難したりした。水がついてしまつた家では、近くの親戚の家などで一ヶ月くらいは寝泊まりさせてもらった。」

「家中の荷物を小学校へ運び、落ち着くまでそのまま小学校に置いて

もらつたりした家もあった。」

「家の中の物がみんな浮いてしまつてあちこちに散らばつたり、水がついたために家がだめになつたりして、被害が大きかった。」

（続く）

南小学校 新校長着任

地域とともに

豊丘南小学校長 黒田 敏 樹



東に伊那山脈、西に天竜川を望み、日本一の河岸段丘で有名な自然豊かな豊丘の地に立つ、歴史と文化を誇る豊丘南小学校への着任は、誠に光栄であり、身の引き締まる思いです。

本年度、一年生三十八名が入学し、全校児童二百八十四名でスタートしました。着任後の一ヶ月間、児童の明るい笑顔と素直で真剣な眼差し、保護者と地域の皆様への教育に寄せる手厚いご支援とご期待に感謝の思いに満たされる日々です。

子どもたちは、「学校の宝」であり、「地域の宝」です。その宝である子どもたちの健やかな成長、そして、自立のために、子どもたちが一人ひとりを常に真ん中にして、保護者と地域の皆様、そして、教職員が手を携へ、「子どもたちのために何ができるか」「子どもたちのために何をすべきか」を常に考えながら、教育活動に当たる所存です。

子どもたちにとって地域の教育資源である「豊丘村のひと・もの・こと」とかわる様々な直接体験を通して、

牛と共に歩んだ家畜商人生に「片の曇り無し

シリーズ「元氣な高齢者」⑤⑥

代田林三さん

八十八歳

中部二在住

昭和五年に五人きょうだいの（男三、女二）の次男として現在地に生まれた。両親は養蚕を主体とする小規模農業の傍ら、山仕事で生計を立てていた。三歳上の長男・岩三さんは三歳の時にかつた熱病が原因で障害者になつてしまい、その後の林三さんの人生に大きく影響を及ぼした。諸々のことで心労が重なり父親は五十六歳で、母親は四十八歳で死亡するという短命であった。小学校入学前から共に家業の手伝いを行っていた弟は、営林署に勤めながら代用教員をしていたが、通信学校を卒業し教員免許を取り、三十五年間教員を勤めたという苦勞人であったが、昨年亡くなったのは無念である。林三さんは高等科二年を

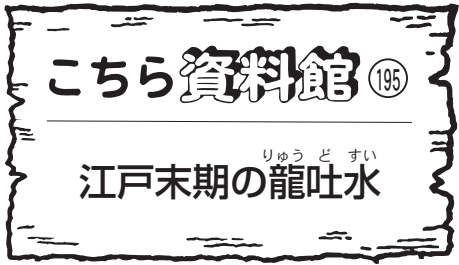


卒業し、当時の世相を反映し男の義務と考え海軍航空隊を志願、二次試験に合格し入隊しようとする寸前に終戦となり、入隊を免れそのまま家業に就いた。近所には入隊して直ぐに戦死した人もおり、まさに運命の分かれ道であった。

二十三歳の時、同じ河野で一歳上のとみゑさんと結婚した。親戚の人達と相談の末、代田家の跡取りとしての結論であった。兄は飯田市の施設を主とした長い介護生活の末八十五歳で亡くなった。しかし暫くしてトラブルに見舞われた。売買に必要な伝染病予防注射を受けていない牛を扱ってしまったのだ。ちよつとした行き違いにより発生したのだが、大阪市場で出回り大きな問題となり、二ヶ月の免許取り上げの処分を受けた。やがて解決したが、その間収入が途絶え大きな痛手となった。処分が解たが、ほとぼ

りに興じたが、現在はそれも辞めテレビでニュース、スポーツを観る程度で、近くの風呂に行き、少なくとも一時的に気分転換ができた。現在は、敷地内に新築した孫家族を含め七人で暮らしており、曾孫の成長を楽しみにしている。身体的には耳が遠くなっているのは仕方ないが、健康維持のため毎日三十分程度の散歩は欠かさない。糖尿病、合併症のため五種類の治療薬を飲んでいるが大きな懸念はない。車両を三台乗りつぶす等、長い間お世話になつた運転免許は昨年返納した。とみゑさんは林三さんの仕事の手伝い、兄の介護等での長い間の心労が重なり十二年前に七十七歳で亡くなった。家族のため懸命に尽くしてくれたと深く感謝している。

文責 桐崎 長一



写真は「龍吐水」(または、りゅうとすい)と呼ばれ、永い間玄関の軒に吊るしてあったそうですが、一部の欠損を除けばほぼ完全な状態の逸品です。側面に文久三年(一八六三)との記入があります。明治になる五

年前の作と分かります。駕籠のような形をしています。真ん中の箱に水を入れ、火事場近くに担いで行き、担ぎ棒を交互に漕いで

空気圧縮し、その力で木筒から水を飛ばしました。水は手桶で補給しました。実際、消火にどれほど役立ったかは疑問です。しかし、消火活動といえば、火の周辺の家を壊して延焼を防ぐことが中心だった時代です。火から少しでも離れた所から水をかける装置は画期的な発明でした。



す。つくりの精巧さも考え合わせると、この「龍吐水」、おそらく京都あたりに注文して専門職人に作らせたものと考えられます。

ただ今、資料館玄関ホールで展示中です。是非ご覧ください。

近年、会話中に「本当ですか」という言葉が使われる。それ、「貴方が言っていることは本当ですか」と受け取れる使わ

「その二」「全然くだ」「全然平気だ」「全然くだ」の言葉が各所で使われている。私が理解している「全然」は「全然くはない」のように否定の言葉として使われるのが当たり前であった。ところが最近のテレビなど、公



四月二十七日、平成最後となる市町村対抗駅伝大会が今年も松本平広域公園陸上競技場を発着点に開催されました。今年はゴールデンウィーク十連休初日の開催で、中学校が学校行事の都合で登校日となり中学生が出場できないことにより一般の部が編成できず、第二回大会以来の連続出場がストップしてしまいました

が、小学生駅伝は参加し、昨

年内各市町村代表の俊足小学生六十チームが一斉にスタート。わが豊丘村チームは、一区三石さんが初出場ながら落ち着いた走りで見えませんでした。今年はゴールデンウィーク十連休初日の開催で、中学校が学校行事の都合で登校日となり中学生が出場できないことにより一般の部が編成できず、第二回大会以来の連続出場がストップしてしまいました

かなフォームで大きく順位を落とすことなくアンカーへ、四区山本君も小学生時代に兄姉がこの駅伝を走っており、練習時から見せた積極的な力強い走りで見えませんでした。今年はゴールデンウィーク十連休初日の開催で、中学校が学校行事の都合で登校日となり中学生が出場できないことにより一般の部が編成できず、第二回大会以来の連続出場がストップしてしまいました

つでできてきたようにも感じます。勝敗や順位はもちろん大切ですが、世代を超えた地域のつながりを育て、人を育てることもスポーツの大切なこととスפורツの大切さでありすばらしさだと思えます。令和の時代にもさらにパワーアップしたチームで出場したいと思

寄稿 気になる言葉について思う 南市場 日下部富次

近年、以前使われていた言葉の意味や、使われ方が変化しているように感じる。意味が反対になったり表面だけになったりしている。この変化は許されるのか、更に国会などでの質疑の模様などで気になる点を記してみ

「その二」「全然くだ」「全然平気だ」「全然くだ」の言葉が各所で使われている。私が理解している「全然」は「全然くはない」のように否定の言葉として使われるのが当たり前であった。ところが最近のテレビなど、公

「その二」「全然くだ」「全然平気だ」「全然くだ」の言葉が各所で使われている。私が理解している「全然」は「全然くはない」のように否定の言葉として使われるのが当たり前であった。ところが最近のテレビなど、公

「その二」「全然くだ」「全然平気だ」「全然くだ」の言葉が各所で使われている。私が理解している「全然」は「全然くはない」のように否定の言葉として使われるのが当たり前であった。ところが最近のテレビなど、公



年の順位を十二位上回る六十チーム中四十四位という結果を残すことができた。この大会に向けて約一か月前より、南北小学校から推薦された走るのが大好きな子どもたちと、毎週一回の合同練習をして準備をしてきました。小学生駅伝は一人一・五kmの全四区間のコースで、豊丘村チームは一区三石琴音(南小五年)・二区久保田成海(北小六年)・三区菅沼心乃香(南小六年)・四区山本朝輝(北小六年)・男子補欠宮沢波也斗(北小六年)・女子補欠三澤葵心(南小五年)のオーダーで出場しました。当日は十時四十五分に県



令和元年度 公民館役職員紹介

よろしくお願いします

- | | | | | | | | | | |
|---|--|--|---|--|---|--|---|--|---|
| 【本館】
公民館長 原 国人
社会教育係長兼公民館主事 牧野内良幸
公民館主事 松村 佐織
図書館司書 関口 京子
図書委員 松尾こずゑ 原 明美 | 【本館社会部】
部長 菅沼 秀夫
副部長 堀本 明一
副部長 松澤 令子
越野 清司
小池 光好
前出美智子
片桐 達司 | 【分館長】
竹村 浩一(一分館)
川西 浩一(二分館)
北澤 義和(三分館) | 【分館社会部長】
今村 和志(二分館)
光澤 明(三分館)
小澤 美幸(四分館)
平 克久(五分館)
壬生 晃輔(七分館)
中川 浩二(一分館) | 【分館体育部長代表】
仲村 謙二(四分館)
小椋 司(五分館)
小池 光好(六分館)
宮下 弘幸(七分館) | 【分館主事】
神谷 公彦(一分館)
松下 勝幸(二分館)
酒井 章弘(三分館)
吉川 昌利(四分館)
林 達也(五分館)
唐沢 伸彦(六分館)
木下 悟(七分館) | 【分館図書部長(代表)】
松村 友里(一分館)
中原 淳(二分館)
原 恵(三分館)
平澤美穂子(四分館)
久保田美智代(五分館)
三島 拓(六分館)
高田 浩紀(七分館) | 【公民館運営審議会委員】
前沢 義恵(一分館)
林 恵美子(二分館)
鹿野 寛(三分館)
寺澤 和男(四分館)
田島 亨(五分館) | 【館報編集委員】
壬生 雅穂 桐崎 長一
原 明美 小池 淳子
松尾こずゑ 宮下 正弘
吉田 裕 小池 光好
津田 孝平 | 北澤とみ子(六分館)
三石 和志(七分館)
黒田 敏樹(南小学校)
松村 幸紀(P.T.A.)
貝原 豪(社教委)
秦 このみ(J.A.)
北澤 貢(区長会)
原 高之(商工会)
林 清光(勤労協) |
|---|--|--|---|--|---|--|---|--|---|

新しい公民館編集委員

伝わる

紙面作りを

篠松尾こずゑ

記録として

読み物として

上佐原小池光好

豊丘を

肌で感じながら

慈恵園津田孝平



昨年の四月より編集委員に加わりました。

編集委員会では、毎回村民のみなさんに知ってもらいたいこと、伝えたいことなどを話し合つて紙面を作成しています。

公民館報を読むと豊丘村の出来事や行事人がわかつて面白いと思つていただけるような紙面作りをしたいです。また、現在の読者にも、未来の読者にも興味を持って読んでいただければ嬉しいです。よろしく願ひします。

生まれ育つた豊丘村に帰郷して早々、地区の色々な役を担うこととなりましたが、その中の一つに分館長がありました。その縁もあつて、昨年社会部への誘いを受け、さらに今年編集委員として携わらせていただくことになりました。

公民館報は、記録物としての役割があります。一方で、読み物として読みやすくおもしろいことも重要です。誰もが読みたくなるような紙面作りにお役に立てればと思つています。

はじめまして。今年度から館報とよおかの編集に携わらせていただきます、慈恵園職員津田孝平と申します。東京から豊丘に越してきて一年、子どもたちと共に暮らす中で南信の環境にも馴れてきました。飯田下伊那の四季、風習、方言など今まででなかった経験を肌で感じながら暮らしています。若輩者ではございますが、諸先輩方に沢山のことを教わりながら、一杯活動させていただきま

す。よろしく願ひします。

～シリーズ～ 豊丘の自然

No.185

ヒミズ
(モグラ科)



「豊丘の自然」No.75で、コウベモグラの初めての確認を地下生活に適しているから当然かも」と書いたが、今月はヒミズを取り上げて、飯田下伊那に生息する五種類のモグラ科の仲間を紹介する。

ミズモグラ、アズマモグラ、コウベモグラは前肢シャベル型でトンネル生活に適している。ヒミズ、ヒメヒミズの前肢はシャベル型ではないので地中生活には適していない。落葉の下に溝を掘る程度。だからだろう。石毛さん(下條村)の猫は毎日のように捕つてくるらしい。私自身も、よく死体をみかける。ところで、このヒミズ、「日見ず」から名前が付いたのだと言うから、おもしろい。

(山田 拓)

第49回 ナイターソフト 開幕

北市場一 中園 紘

二〇一九年度のナイターソフトボール大会が開幕しました。今年度で第四十九回目となります。四月二十六日(金)に保健センターに於いて開会式を行い、五月七日より試合が始まりました。昨年に比べて一チーム減となり豊リーグ八チーム、丘リーグ七チームの十五チームで各リーグ毎に前期後期でリーグ戦を行い各チーム共優勝をめざして戦います。六月は例年の通り消防の操法大会があるため一ヶ月間休止七月から再スタートとなります。雨天により流れる試合もあろうかと思ひますが八月中には全日程が終了できると見込

んでいます。まだどのチームにも登録していない人、ソフトボールに関心のある人を各チームで誘い合つて途中登録でも出場出来るのでソフトボール人口を増やして頂ければと思います。

俳句 短歌

古き寺廻廊巡る花の雨
さざなみの綺羅の一筋花筏
春陰や工房主を待ちつづけ
春田打ち軌道に鳥の集まれり
水仙の土手一面に咲き競ふ
遠山谷風を集めて花吹雪
春蘭や日を一身に咲きつづけ
雛飾り人待つ顔となつてきし
令和へと御代安寧に初桜
令和へと一本立ちあふ青き麦
大ふぐり笑ふ少女の両あくぼ
新元号引き締まりたる花の色
舟造り急かす中州の初雲雀

磯部セツ子
田中 静
片桐 洋子
森田 恵子
三島 保子
三島 里子
木下 真水
松岡 照子
宮下 公
宮下 純子
林 恵美子
丸山 時子
北原 昭子

おもしろな記録 第25記

若人が春の里に舞う 河野大宮の春祭り



2019年宵祭りにオカメ踊りと獅子舞そして壮丁踊りで境内が賑わう

はじめ関係者総出の獅子舞と小学生によるお囃子、そして若者が扮する壮丁踊りに、小学六年生のオカメ踊りが河野の里を巡回して地域を浄めてまわる。長い伝統を引き継ぐ壮丁踊りは、大正四年に青年有志により始まったのが最初で、大正十四年からは成人を迎えた若者が、長じゅばんにたつつけ姿で舞う。今年の春祭りには久しぶりに復活した踊りに、見物人からはおひねりが飛び交うほどの人気となった。オカメ踊りは百年以上の歴史があり、最初は



2005年の壮丁踊り

村内の各神社では、四月初旬から中旬にかけて豊作祈願と家内安全を祈願して春祭りが行われる。河野大宮神社でも氏子を



2010年オカメ踊りと獅子舞が里に舞う

川柳

〈豊丘村川柳クラブ豊柳会〉

▼課題「仏」 福沢勝美 選
ほのぼのと春を先取る仏の座 市沢 照子
仏にも鬼にも変わる人の性 桃沢 健介
仏壇に離農報告許し乞う 久保ひろし
軸吟…四度目は仏の顔も仏頂面
▼課題「回」 互 選
悲しひと喜び回る万華鏡 原 美風
過疎の村回覧板も二軒きり 福沢 勝美
演歌さき遠い昭和を回想す 林 もも子
▼自由吟 久保ひろし 選
足腰の機嫌次第で顔に出る 西元 峯子
スーパ一の籠を覗けば似た暮らし 安田 喜子
ひきこもり若者たちの高齢化 山本 義彦
軸吟…正直者遠まわしでは気付かない

〈とよおか短歌会〉

車より一時帰宅で降りる人寄り添う妻に犬は尻尾をふる 福澤貴美恵
人工股関節の画像を見つつ主治医言う「あと十年は大丈夫です」 壬生 千春
星空に赤き灯点滅させながら穏やかな宇宙を旅客機何処へ 大倉 知江
芽吹きそむ南天のもと雑草とれば冬眠中のカエルとび出る 松下 泰見
「もう採れた」赤く小さなラディッシュを夫は昼餉に春を待ちくる 大原真由美
春大根漸く若葉に育ちしがもこもこ土竜が根を浮き立たす 筒井 恵子
百円玉握り石段駆け上がりしお宮の境内祭りの記憶 北澤 秀子
令春の風和らぎて紅梅は木末に初花 咲く門辺に 毛涯百合子
右側をエスカレーター駆けあがるその身軽さに若さまばゆし 松尾ヒサコ
初めての受験戦争に挑む孫娘すべり止めなれどサクラサクなり 福澤 亀人